

# いじめ防止児童が劇上演

## 大津・南郷小 収録、人権催しで上映

大津市の南郷小の児童たちが、いじめの防止や川遊びの怖さなどを伝えるオリジナル劇を上演に取り組んでいる。収録した劇は地元の人権イベントでも

映され、息の合った演技で観衆の心に訴えかけている。劇に取り組んでいるのは、5月に同小児童の自主活動グループとして結成された「南郷



いじめの防止を伝えるオリジナル劇を上演する南郷小「南郷スマイルボランティア」のメンバー (大津市南郷1丁目)

スマイルボランティア」。4〜6年の約70人が参加している。

15日の昼休みに上演した劇は、いじめの防止を呼びかける2作品。そのうち1作は、

友達3人のうち2人が残りの1人をわざと無視した後に「どつきりだ」と明かして悲しま

せると、「南郷戦隊スマイルレンジャー」が現れて「どつきりだ」といって許されるものじゃない」と諭して仲直りさせる内容。実際に

よく起こる児童同士のトラブルを基に、同小教諭が台本を書いた。

10月下旬から練習や衣装作りに励んできたという児童たちは、せりふをしっかりと暗唱して堂々と演じきった。

この日の劇は収録され、18日に南郷中であつた地域住民らが集う人権イベントでも上映

された。

7月の1学期終業式には、川遊びの危険性や、子ども同士でお金の貸し借りをしないことなど、夏休み中の過ごし方の注意点についても劇で伝えた。いじめ防止を訴える劇でスマイルレンジャー役を演じた6年世良翼さん(12)は「緊張せず演じることができ、皆に伝わったと思う。実生活でもレンジャーのようになりたい」と話していた。(門田俊宏)